令和３年度群馬県高文連小倉百人一首かるた専門部主催大会における

新型コロナウィルス感染防止対策について

「新型コロナウィルス感染防止対策を踏まえた公認大会再会ガイドライン」（（一社）全日本かるた協会より令和２年７月１７日通知、以下、ガイドライン）に基づき、標記大会の新型コロナウィルス感染防止対策を以下のように策定する。

１．大会開催の判断基準

　１）全国および大会を開催する都道府県で緊急事態宣言が出されていないこと。

　２）政府から都道府県間の移動自粛が解除されており、かつ大会を開催する都道府県においても他都道府県との移動自粛が要請されていないこと。

　３）開催都道府県において、開催予定の大会に該当する規模のイベント開催について制限・中止要請がされていないこと。

４）主催者が開催可能と判断した場合。

２．主催者および会場設営にかかる内容

　１）出場者数について

　　①　１日の試合回数

感染のリスクを少しでも減らすため、１日最大４試合までとする。

　　②　同時に試合を行う選手数を制限する

　　　　感染のリスクを少しでも減らすため、１会場で取れる組数の目安は６畳に１組を基準とする。

　２）入場時

　　①　入場時、選手、役員、引率者全員の検温を実施し、３７．０度以上ある場合は入場を断るものとする。検温の方法は非接触式型温度計を使用するものとする。

①および後述の３．「出場選手に求める内容」⑥健康観察チェックおよび参加承諾書において、体調不良の疑いがある生徒およびその学校については、出場を制限する。

　　②　主催者は各学校顧問を通じて、参加者全員の氏名、住所、連絡先を把握するものとする。

　　③　選手、役員、引率者全員マスクを着用するものとする。

　３）受付方法

　　①　受付はアクリル板などの感染防止対策を取る。

　　②　受付時は２ｍの間隔を開けて並ぶ、受付時間を分散させるなど密集しないための対策を取る。

集合時間の詳細日程は、大会ごとに注意事項で各校へ周知する。

　４）会場内の施設使用について

　　①　会場内にアルコール消毒液を設置する。

　　②　換気方法

　　　　原則、常時窓を開けて換気する。窓を開けての競技が認められていない場合は、３０分に１回、５分程度換気する。

　　③　更衣室、控室についても十分なスペースをとる、使用時間を分散するなど３密の回避を徹底す

る。

　　④　会場での飲食については、マスクを外した状態で対面することを避け、会話はしないよう注意

する。

　　⑤　無観客にて大会を実施し、会場に入場できる者は出場選手、引率教員、競技役員のみとする。

　５）開会式、閉会式

　　①開会式、閉会式は可能な限り簡略、省略する。

　　②表彰は個別に行う。

　６）読手、審判の対応

　　①　読手は対戦者から２メートル以上離れたところから読む。なお、読手はアクリル板で囲い、飛沫拡散を防止する。

　　②　審判が付くときには、対戦者に近づきすぎないよう、審判長が審判の位置を指定する。場所に

よっては着席せずに審判することも可とする。

　７）その他

　　①　組合せは事前に行い、各自自身の着席場所を確認する。

　　②　結果報告場所はアクリル板などの仕切りを設ける。選手は２ｍ以上の間隔を開けて並ぶものと

する。

　　③　１度使用した札は、当日は再度使用しない。

　　④　熱中症対策として、試合中の個別の給水を奨励する。

　　　　畳に水滴がこぼれないように、容器に注意する。

３．出場選手に求める内容

　　①　マスクを着用する。

　　②　引率の人数は最小限に抑える。

　　③　試合中に大きな声を出さない。

　　　　団体戦の声かけについては、取り・お手つきに関する声かけを禁止する。

　　④　選手は出来るだけ揉めないように心がける。

　　⑤　試合後の手洗いを徹底する。

　　⑥　２週間前からの健康観察チェックを行い、参加同意書を提出する。

以上